

平成 17 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社エイアンドティー
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 松 崎 駿 二
 (コード番号：6722)
 問 い 合 わ せ 先 常務取締役管理ユニットリーダー
 磯村健二
 電 話 番 号 045 - 317 - 1252 (代)

平成 17 年 12 月期中間期 (連結・単独) 業績予想及び
 通期 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 12 月期(平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)の業績予想について、平成 17 年 2 月 17 日付当社「平成 17 年 12 月期決算短信 (連結)」及び同日付当社「平成 17 年 12 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 17 年 12 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	3,250	0	0
今 回 修 正 (B)	3,232	67	55
増 減 額 (B - A)	17	67	55
増 減 率	0.5%	- %	- %

(2) 修正理由

売上高につきましては、臨床検査試薬の販売がOEM先を中心に順調に推移いたしました
 が、臨床検査機器システムの販売が企業間競争の激化による販売価格の下落及び新製品の納
 入に伴う一時的な工数の増加等により低迷し、期初計画を若干下回る見込みであります。

経常損益につきましては、臨床検査試薬の増収による増益効果があったものの、臨床検査
 機器システムの減収及び販売価格の下落に伴う採算性の低下等により売上原価率が上昇し、
 経常損失 67 百万円 (当初予想比 67 百万円の減益) となる見込みであります。

当期純損益につきましては、上記の理由に加え、法人税等調整額などの計上により、当期
 純損失 55 百万円 (当初予想比 55 百万円の減益) となる見込みであります。

なお、連結子会社 (株式会社アットウィル) の業績が堅調であり、その影響により、連結
 業績予想は単独業績予想よりも減益額は少なくなる見込みであります。

(3) 通期(平成17年1月1日~平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	7,000	250	150
今回修正(B)	6,850	70	30
増減額(B-A)	150	180	120
増減率	2.1%	72.0%	80.0%

(4) 修正理由

通期におきましても、当社グループを取り巻く市場環境は引き続き厳しい状況が続くと予想されます。このような状況の下、当社グループは新製品の量産体制への移行による製造原価の低減、国内外の販路拡大、付加価値のある新製品の開発、人材育成による競争力の強化、経費削減などに取り組んでまいります。中間期の業績を踏まえて通期の動向を検討した結果、売上高・経常利益・当期純利益を下方修正いたします。

なお、連結子会社(株式会社アットウィル)の業績が引き続き堅調に推移することが見込まれ、その影響により、連結業績予想は単独業績予想よりも減益額は少なくなる見込みであります。

(5) ご参考:前期の実績(平成16年1月1日~平成16年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	3,317	226	141
通期	6,847	408	241

2. 平成17年12月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成17年1月1日~平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	2,910	10	6
今回修正(B)	2,876	117	84
増減額(B-A)	33	127	90
増減率	1.1%	- %	- %

(2) 修正理由

連結の修正理由と同様の要因にて、売上高・経常利益・当期純利益を下方修正いたします。

(3) 通期(平成17年1月1日~平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	6,300	240	145
今回修正(B)	6,100	0	10
増減額(B-A)	200	240	155
増減率	3.2%	- %	- %

(4) 修正理由
連結の修正理由と同様の要因にて、売上高・経常利益・当期純利益を下方修正いたします。

(5) ご参考：前期の実績（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	2,950	174	108
通期	6,071	290	170

以上

(注)上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。